



たしはな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



令和5年度静岡県連盟定時総会 5月20日(土)「あざれあ」大ホールにて



各章表彰式



定時総会



小ホールでのパネル展示

CONTENTS

2023年度 静岡県連盟定時総会	2	第12回 若き指導者	10
2023年度 日本連盟・県連盟 表彰者名簿	4	ビーバーだより・カブつうしん	11
令和5年度ボーイスカウト日本連盟 全国大会開催	5	ボーイ通信	12
ボーイスカウト浜松第30団 20周年記念行事開催	6	指導者だより	13
第18回 宗教章取得研修	7	「友情章」おめでとう68名の仲間	14
ウッドバッジ研修所課程別研修静岡春季	8	マスコミコーナー	15
掛川2団「スーパーカブ」「菊章」受章者 掛川市長表敬訪問	9	お知らせコーナー	16
「いわた大祭り」オープニングパレード	9		

2023年度 静岡県連盟定時総会

■日時／令和5年5月20日(土) ■会場／静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大・小ホール



新型コロナウイルス感染防止も緩和され、2023(令和5)年度静岡県連盟定時総会を「あざれあ」大・小ホールにて開催致しました。総会に先立ち各章の表彰式が行われました。今回の表彰式からは菊スカウト章受章者の表彰も実施しました。また18NSJの報告動画が公開されました。総会では第1号議案「2022(令和4)年度事業報告に関する件」、第2号議案「2022(令和4)年度収支決算報告に関する件、第3号議案「理事・監事の選任に関する件」の審議が行われ全ての議案が承認されました。今回の総会で村松武博理事長が退任され、小林透業務執行理事が理事長に新任されました。



菊スカウト顕彰



菊スカウト顕彰



連盟歌斉唱

パネル展示 ■会場／「あざれあ」小ホール

小ホールでは、今回初めて隊の活動報告を行うパネル展示が行われました。



ユースチーム



伊豆地区



表彰式・総会の模様は「県連facebook」に公開されております。ご確認ください。

“Share Your Light”(あなたはきっと 誰かの光だ。)



小林新理事長あいさつ

先月は、記録的な大雨による災害が発生し、各地で河川の氾濫や土砂崩れなどの被害に遭われた地域の皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

5月20日に開催されました「令和5年度静岡県連盟年次総会」をもって、理事長に就任いたしました。村松前理事長が6年間積み上げてこられた実績を継承していくとともに、さらに前進するためにも、一人一人が手を取り合い、一人一人の静岡県連盟として、その輪を広げていきたいと考えています。

ボーイスカウトの創始者バーデン・パウエル卿が残された「ラストメッセージ」は、日本連盟創立100周年を期して、あらためて見直されています。

ラストメッセージには、この世界を素晴らしい世界であると実感するためには、自然研究をすること、幸福になるためには、世の中の役に立てるよう、健康で強い体をつくり、他の人に幸福を与えること、そのためには「ちかいとおきて」を堅く守ることとしています。

私たちは、性別、出生、人種、信条による区別なく、一人一人が違って当たり前、個性特長を伸ばし、それを活かしながら、すべての加盟員が「ラストメッセージ」を実践できる一人だということを受け止めなければなりません。

そのためにも、東京2020/パラリンピック聖火リレーのコンセプトだった“Share Your Light”(あなたはきっと 誰かの光だ。)のように、自らが誰かの光になって、幸福に暮らし楽しめる世界を作る仲間として一人一人が手を取り合い、仲間を増やし、その輪を広げてまいりましょう。

結びになりますが、これまで静岡県連盟の発展に尽くされた諸先輩方に心より感謝申し上げ、本格的な夏に向け、皆さまのますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 小林 透



2023年度 日本連盟・県連盟 表彰者名簿

■日時／令和5年5月20日(土) ■会場／静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

◆日本連盟 公共奉仕綬

地 区	綬章隊	表彰理由	所属団
伊 豆	CS隊・BS隊	清掃奉仕・緑化活動等	大仁第1団

◆日本連盟 功労章 たか章

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
磐 田	村松清一	県連名誉会議議員	袋井第4団
磐 田	城戸勝英	県連名誉会議議員	磐田第6団

◆日本連盟 功労章 かっこう章

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
伊 豆	木村利春	地区コミッショナー	三島第5団
志 太	荒井 健	団担当コミッショナー	焼津第1団
浜 松	西村清矢	団担当コミッショナー	浜松第12団
浜松東	名刀光夫	地区事務長	浜松第21団
沼 駿	小原純一	地区副コミッショナー	沼津第19団

◆日本連盟 特別年功章50年章

地 区	氏 名	所属団	地 区	氏 名	所属団
伊豆	土山和雅	三島第3団	静岡	杉山清一郎	静岡第14団
磐田	旭 日重	御殿場第6団	志太	鈴木邦夫	藤枝第1団
静岡	森田 充	静岡第10団	志太	瀧田太郎	藤枝第1団
静岡	尾崎志郎	静岡第10団	志太	松浦秀和	藤枝第1団
静岡	曾根田茂	静岡第10団	志太	村松武博	藤枝第2団
静岡	大須賀和美	静岡第10団	志太	小野光男	藤枝第2団
静岡	朝岡知久	静岡第10団	志太	館 正義	藤枝第2団
静岡	瀧島金吾	静岡第14団	志太	天野吾助	藤枝第2団
静岡	瀧島三郎	静岡第14団			

◆県連盟 善行綬

地 区	綬章隊	表彰理由	所属団
沼 駿	BVS隊～VS隊	清掃奉仕	沼津第1団
沼 駿	BVS隊～VS隊	地域奉仕 プラカード持等	沼津第19団

◆県連盟 スカウティング褒章

地 区	氏 名	表彰理由	所属団
伊 豆	神田恵依	作文コンクール知事表彰	三島第14団BS
浜松東	鈴木隆之介	浜松やらまいか文学賞	浜松第30団VS

◆県連盟 感謝章

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
志 太	村松武博	理事長	藤枝第2団
伊 豆	土山惟之	副理事長	大仁第1団
清 水	脇坂 茂	副理事長	清水第19団

《日本連盟 組織拡充目標達成加盟団》

◎Aランク／スカウト数65名以上かつ指導者25名以上の
合計90名以上3年間継続団

三島第3団 三島第5団 大仁第1団 浜松第12団

◆県連盟 感謝状

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
伊 豆	山本知佐子	スカウト委員長	函南第1団
富 士	志賀裕人	指導者委員長	富士第2団
静 岡	松田 茂	総務・広報委員長	静岡第27団
富 士	鈴木孝治	地区委員長	富士第8団
静 岡	山下芳寛	地区委員長	静岡第7団
浜 松	渋谷茂光	地区委員長	浜松第19団
伊 豆	小林 透	県コミッショナー	三島第14団
志 太	岡村資和	県副コミッショナー	大井川第3団
浜 松	宮崎賞人	県副コミッショナー	浜松第7団
浜松東	大澤 晶	県副コミッショナー	浜松第22団
清 水	山崎敏弘	日本連盟副リーダートレーナー	清水第17団
浜 松	宮崎賞人	日本連盟副リーダートレーナー	浜松第7団
富士宮	野中 仁	名誉会議議員	富士宮第22団
島 田	柴田伸二	名誉会議議員	島田第2団
磐 田	村松清一	名誉会議議員	袋井第4団
沼 駿	川島一郎	地区協議会長	長泉第2団
富 士	杉山 満	地区協議会長	富士第14団
浜 松	仲田 始	地区協議会長	浜松第12団
富士宮	細野猛嗣	地区コミッショナー	富士宮第5団

◆県連盟 特別有功章

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
伊 豆	岡野 泉	副団委員長	三島第5団
伊 豆	青木光秋	ベンチャー隊長	函南第1団
伊 豆	山本知佐子	ボーイ隊副長	函南第1団
伊 豆	山本登宜夫	カブ隊長	函南第1団
富 士	渡邊広計	ベンチャー隊長	富士第14団
志 太	村松沙由美	ビーバー隊長	藤枝第2団
磐 田	大石健太	ボーイ隊長	豊田第1団
浜松東	山屋 宏	育成会長	浜松第24団

◆県連盟 有功章

地 区	氏 名	役 務(令和4年度)	所属団
伊 豆	鈴木信司	副団委員長	三島第5団
伊 豆	長倉良幸	団委員長	函南第1団
伊 豆	川口利宏	ボーイ隊長	函南第1団
伊 豆	後藤 真	団委員	函南第1団
伊 豆	大山正晃	団委員長	熱海第11団
沼 駿	内田恵子	副団委員長	清水町第7団
志 太	守屋義寛	カブ隊副長	焼津第2団
島 田	河村浩之	ボーイ隊長	島田第5団
磐 田	岡本 真	ボーイ隊副長	磐田第6団



令和5年度ボーイスカウト日本連盟

全国大会開催



令和5年度全国大会 全国ローバースカウト会議(RCJ)に参加して

静岡第14団 ローバースカウト 静岡県代表 大場 圭一郎

5月27日と28日に岡山で行われた全国大会に参加しました。私は前日に岡山に着き一泊野営しました。27日午前中イオンモール岡山で開催のスカウティングエキスポを見学し午後は岡山国際交流センターでRCJ総会に出席し、その後野営地に戻り愛知の方々と食事をして交流を深めました。28日全国スカウト教育会議(テーマ別集会)に参加し、今回はWB研修所の修了後の延長線として、みんなで話そう「スカウトのためにできること、変えていくこと、変えてはならないこと」などの活動プログラムについて学びました。その後共に過した仲間と別れ岡山名物デミカツ丼をたべ岡山城を遠目でみて帰路に着きました。来年は秋田での開催予定です。是非参加したいと思います。

来年度は秋田に行きましょう！

県コミッショナー 澤田 浩久



5月27日、28日の2日間で岡山県にて全国大会が行われました。全国大会では2日間かけて様々な会議や日本連盟功労章の表彰式、交歓会などが行われます。開会式から表彰式まではYouTubeでライブ配信も行われましたので、画面にてご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今年度は日本連盟表彰では、県連盟から公共奉仕綬2個隊、たか章2名、かっこう章5名の方が受章され、全国のスカウト関係者の前で表彰を受けられました。誠にありがとうございます。役員でもないし、表彰もされないし、私には関係ないかなと思っているそこのあなた！全国大会は表彰者や県連盟役員、地区役員のみが参加するものでは決してありません。全国スカウト教育会議は教育規程にも定め

られている、毎年度1回、全国の指導者を対象として開催される会議となっており、毎年度全国大会の際にテーマ別集会として開催されています。今年度は10のテーマが設けられ、多くの皆さんが自分の興味あるテーマに参加し、各会場で活発な発表や議論が行われました。日本連盟の各委員会からの最新情報を入手出来たり、逆に現場の指導者の声を直接日本連盟に届けることができたりという貴重な機会ですので、より多くの団、隊指導者の皆様にもご参加いただけることを願っております。来年度は秋田県での開催となり、ちょっと遠くなりますが皆さん一緒に参加してみませんか。



📍全国大会が始まりました



🎵歌声が広がるスカウト活動

👥組織拡充委員会に参加



📍岡山駅に到着！

ボーイスカウト浜松第30団

20周年記念行事開催!

■日時／5月13日(土) ■場所／浜松太田山野営場

浜松第30団 団委員長
稲野 吉弘

まだまだまだまだ進化の途上!理想の団をめざして20年、皆に支えられてここまでできました。始まりは20年前、3人の隊指導者そして3人の団指導者でスタートした浜松第30団。それぞれがボーイスカウト活動経験者であり話は早かった!貰ったのは『スカウトの自発を促すこと』、『皆で行動理念を共有し話し合いで運営する』そして『地域の青少年育成に貢献すること』。団会議、団運営会議、指導者と保護者を繋ぐ保護者会、この3つの会議は毎月行われました。これはスカウトや指導者の顕彰、各隊活動報告や計画など一丸となる要の会議であり団運営にはなくてはならないものでした。はたして20年たった今はどうだろうか。スカウト、指導者のOB・OG・現役総勢90人!20周年記念のこの日は朝から曇り空で今にも泣き出しそうな天候でした。しかし案ずることはありません、雨には雨の対応があります。どん

な天候が待ち構えていてもおおらかに受け入れましょう。午前中は谷間の広場で全員セレモニー、山深く新緑に囲まれたこのような場所でOB・OG・現役に囲まれ式典ができることに心から感謝します。OB・OGからのお言葉も頂きました。さて午後は映像やゲームを交えた過去のふりかえりや楽しいお祭り出店の予定でしたが、案の定昼から土砂降りの雨。気持ちを立直して各ホールへ。過去の歴史ゲームは大変盛り上がりしました。

夕暮れとなり皆で行うゲームもたけなわ終盤にさしかかりました。本来どうしてもやりたかった大営火は土砂降りで大変悔やまれますが、屋内キャンドルファイヤーとなりました。これはこれでなかなか思い出に残る良いものでした。

最後のことばとして皆さんにお話ししました、“**私はいつも思っています、この活動とはいったいなんだろう**か”と自問自答を吐露しました。団を卒業したOB・OGに聞いてみました、なんと異口同音に“**どんなことがあってもなんとかするぞ**”という気持ちにさせられると、この言葉がすべてを物語っているかのようでした。浜松第30団が100年先まで続きますように、ピース。

浜松第30団 育成会長
河原 みち代

進もう、
一歩ずつ未来に!

壮大な自然の中で創立20周年のイベントを実施し、活動の歴史と今後への想いをあらためて重く感じ取ることができました。創設時の前任者から引き継ぎ、全国的にも珍しい女性の育成会長と言われながら団を見守ってきた15年でした。スカウトたちは日々の努力を怠らず「ちかい」を立て「おきて」を守り「そなえよつねに」をモットーに活動、20年の歴史はみんなの汗と涙の結晶です。そして同時に、大きな喜びと健やかな成長もあったはずで。

青少年を取り巻く環境の変化や予想外の自然災害、コロナ禍で活動が制限される中でも休むことなく活動は続けられました。20年の歴史は終わったのではなく、これからの始まりなのです。「自分のため」「人のため」に生き、誰もが幸せを感じられるよう研鑽を積んで、良き社会人となるために活動を積極的に進めていきましょう。

私たちは、また未来に向かって歩き始めました。

20周年の
歴史ゲーム!キャンドル
ファイヤー

第18回 宗教章取得研修

■日時／3月25日(土)～27日(月)〈2泊3日〉 ■場所／大本山方広寺(浜松市北区奥山)



主管 ボーイスカウト浜松連合協議会 齊藤 晶子

第18回宗教章取得研修は大本山方広寺(浜松市北区奥山)において3月25～27日(2泊3日)、19名の参加で開催しました。スカウト達の多くがこれから始まる宗教章取得研修に不安な面持ちで参加してきました。研修に入ると、まず初めに和尚さんから宗教という言葉の意味、何故ボーイスカウトは信仰を持つ事を推奨しているのか丁寧にお話していただきました。その上でスカウト達は仏教の成り立ち、教えを学び、坐禅、読経を行う中で自身を見つめ直す時間を持ちます。研修の中でそれぞれが胸に落ちる言葉、納得する教えがあり、信仰についての理解が深められた事と思います。それを今後のスカウト活動、人生に活かしていく事を期待しています。



浜松第1団 前田 悠花

今まで生きてきた中で感じた事のない驚きと発見が沢山ありました。食事の前にお経を唱えて、食事が終わったらお茶とたくわんを使って食器をきれいにすること。足をしっかり組んで呼吸を深く坐禅で精神を統一すること。お釈迦様の一生、それにちなんだ行事、お釈迦様のお言葉が何百年も受け継がれてきたこと。お釈迦様の教えの詳しい意味を学んだこと。お坊さんの講義や法話も理解しやすくとても興味が持てました。

磐田第6団 松浦 悠真

この研修を通して仏教がどのようにして私たちの生活と関わっているのか学び、実際に何度も坐禅をしてその教えを体験することが出来ました。特に仏教の根本思想、三法印の一つである「諸行無常」についての講義が印象に残りました。自分は最初「諸行無常」とはどんなに楽えているものでもいずれは消え失せていくという悲観的ではない様子を表す言葉と聞いていましたが、今回方広寺で話を聞き「自分勝手な望みが叶うほどこの世の中は簡単なものではない。価値観を改めて、世の中を正しく観察せよ」という事を促す言葉だと分かり、今後大人になっていくために大事な教えだと思いました。



静岡第14団 徳澄 小春

今回の宗教章取得研修会を通して私は漠然とした「宗教とは何か」という疑問の答えを見つけることが出来ました。研修会の参加前は「人それぞれ信じるものは違うものだ」とばかり思っていました。しかしそれは誤解で「人それぞれ信仰する宗教は違うが、それぞれの宗教の根本的な思想である「人のために」という点で共通している」という事を学びました。「自利利他」という言葉のように、自分を思う気持ちを他の人にも向け、生まれ変わった来世のため、そしてボーイスカウトのちかい「いつも他の人々をたすけます」の言実行のために、これからの生活で徳を積んでいきます。

「元気！」にあふれた！ ウッドバッジ研修所課程別研修静岡春季

■日時／5月21日(日) ■場所／静岡県青少年会館

コースディレクター 植田 明子

5月21日(日)、静岡県青少年会館にて開催された「ウッドバッジ研修所課程別研修静岡春季」は、総勢12名のスタッフが32名という誠に大勢の参加者を迎えての実施となりました。新型コロナウイルス感染症の対応レベルが緩和されたことも大きな理由ではあるものの、参加の傾向を分析すると、若い世代の参加も多く、また、同じ団から複数名で参加されている傾向もあり、今後の参考になると思えました。歌を全員で歌うこと一つとっても、やはり大勢が集まるのは楽しく、終始、明るく元気で前向きな空気が流れた研修となりました。

今研修をご支援くださった皆様に感謝いたしますと共に、新しい経験を積み、新しい仲間を作り、新しい路を自らの力で開いていける今回の参加者皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。 弥栄



課程別研修を終えて

三島第3団 駒走 聡俊

今回のウッドバッジ研修所 課程別研修を通じて、今後指導者になるにあたって必要な幅広い知識を学ぶことができました。特に印象深かった学びは、実際に他の参加者と一緒に月間プログラムを策定したこと。これまで私は、主にローバースカウトとして活動しており、指導者として隊運営に関わる機会は少なかったです。そのため例示された年間プログラムから月間プログラムを策定する経験をしたことで、スカウト活動におけるプログラムの重要性和プログラムサイクルについて理解を深めることができました。

私自身、ローバースカウトとして活動できる期間も残り2年となり、日に日に指導者として活動していく未来が近づいてきているのを感じています。これからの2年間は、スカウトコースや課程別研修で学んだ指導者としての心構えを意識しつつ、将来より良き指導者になれるよう、団や地域への奉仕に目をむけたローバーリングの実践にも力を入れていきたいと思っています。



①ローバースカウト課程



②カブスカウト課程



③ベンチャースカウト課程

掛川2団 「スーパーカブ」「菊章」受章者 掛川市長へ表敬訪問

■日時／3月29日(水) ■場所／掛川市役所5階庁議室

掛川2団で菊章を取得したベンチャー隊「安間紗世」とカブ時代スーパーカブを取得したボーイ隊「岩瀬思歩」が、掛川市の久保田崇市長へ受章の表敬訪問を行いました。市長から「スーパーカブの認定と菊スカウト章の受章、おめでとうございます。ボーイスカウト活動も昨年100周年を迎えたとききました。自分は以前東北地震の時に岩手県で仕事をしていました。岩手県といえば100年前に起こった関東大震災の復興に尽力された後藤新平の出生地です。その後藤新平がボーイスカウトの創立に関わりがあったと聞きました。後藤新平が始めたこの素晴らしい活動をこの先も続けて下さい。そして更に周りにも広めてください」と温かな言葉を頂きました。また市長が執筆された本を持参して直筆のサインを頂きました。この準備は指導者が指示していなかったのに団関係者もちょっとビックリ。スカウト達には良い思い出とモチベーションアップに、市の皆様にはスカウト運動へのご理解のきっかけとなれば幸いです。



④自己紹介する安間さんと岩瀬さん



⑤市長のサインを頂きました

「いわた大祭り」 オープニングパレードに 参加しました!!

■日時／4月29日(土・祝) ■場所／見附宿場通り

豊田第1団団委員 三戸部 孝

2023年4月29日、ゴールデンウィーク初日となった今年、心配された天候も味方して恒例の「いわた大祭り」が開催されました。コロナ禍の影響もあり中止などが続き、見附宿場通りで開催されるのは4年ぶりです。

「いわた大祭り」は大名行列や舞車おどり、薪舞、路上パフォーマンスなどが行われる磐田市の一大イベントであり多くの露店や観客で賑わいました。

ボーイスカウト磐田地区は例年オープニングパレードに参加させて頂いております。先頭に、「遠州大名行列・舞車」の1枚目の横断幕、いわたJr.マーチングバンドを挟み2枚目の横断幕、さらに消防団の吹奏隊の後は各隊旗を持ったカブ、ビーバーが続きました。スカウト達にとって、大勢の観客やマスコミのカメラを意識しながら行進するのは誇らしいことであり、また恥ずかしさもあります。自然と背筋も伸び、歩く姿もカッコ良い!

このようなイベントに参加することにより、多くの市民また見物客にボーイスカウト活動の一端を認識、更に興味を持って頂くことで入隊希望者や問い合わせが増えることを節に祈ります。



第12回「若き指導者」



静岡第27団
カブスカウト隊 隊長
向井 昂志

2017年某日、当時大学生で、ほとんどスカウト活動をしていなかった私に、1通のメッセージが届きました。「アマチュア無線の免許を取りたいスカウトがいるので教えてほしい」と。私は小学4年生の時に受講したアマチュア無線講習会の資料を引っ張り出して、何か使える資料がないかと探しました。その数週間後、今度は「活動に顔を出さないか」とメッセージが来ました。確か団全体の活動だったと思います。久々に活動に参加し、「最近はどういう雰囲気なんだ」とか「知らない人がたくさんいる」なんてことを思った記憶があります。その後、大学を卒業し、新卒入社すると同時になぜかカブ隊の副長となり、ボーイスカウト指導者生



◎慕われております!

活が始まりました。最初は他の指導者さんに付いていくことだけで精一杯で、スカウトの名前も分からないし、慣れるまでかなり時間がかかりました。その年の12月、人生で初めての計画書を作りました。何をどう書けば良いかも分からず、とりあえずそれっぽくことを書きました。活動当日、全然計画書通りには行きませんでした。その時、やっと計画書の重要さに気づき、計画書というのは「指導者の思いやイメージを細かく文章にして具体化するもの」であり、書いている段階ですでに活動の様子が頭にある程度イメージでき

ているはずだと推察しました。この日の活動は今でもはっきり覚えています。

2021年某日、突然団委員長に呼び出されました。待ち合わせ場所に行くと、団委員長の他に2人指導者がいて、その時確信しました。

「あの話」が来ると。4人で話が始まり、早速言われました。「隊長をやらないか」と。

所々記憶があいまいですが、おおよそこのような流れでいつの間にか隊長になっていました。正直最初はものすごく

荷が重く、全く気が進みませんでしたが、いろんな人からアドバイスをいただき、なんとか1年終えたところでした。何かこう、一人の人間として鍛えられたと感じる1年でした。今年度も引き続きカブ隊長として、「まじめに」「しっかりと」「楽しい」活動を展開できたらと思っています。

◎向井隊長がカブの時の風揚げ活動
◎隊長になってからの風揚げ活動



◎ファミリークッキング



いつも元気だっ!
ビーバーだより

じゃがいものタネイモうえ

富士宮地区 富士宮第22団 ビーバー隊 市川 英幸



3月の隊集会でじゃがいものタネをうえました。ひりょうをまいたり、土をよせたり、色々なことをやりました。

4月になり僕がビックビーバーになって再びひりょうをまき、草をむりました。このとき小さい新ジャガをもらってうれしかったです。ジャガバターにして食べました。

また今度の隊集会のポテトサラダづくりも楽しみです。

日本だらハイキング

清水地区 清水第8団 ビーバー隊 橋本 直弥

ビーバーたいでハイキングに行きました。

ぼくのいえから見える日本だら山です。あるくのはたいへんだったよ。きゅうけいでおちゃをのんでがんばったよ。

山のちょうじょうは、たくさんの方がいました。ふじさんやみほのキャンプじょうが見えて、「おーい」とさけびました。がんばってあるいたので、おにぎりがとってもおいしかったよ。

しぜんかんさつビンゴで、ぜんぶの花やこんちゅうをみつけれれてうれしかった。

つぎのかつどうもたのしみです。



あわが岳たのしかったよ。

磐田地区 磐田第7団 ビーバー隊 大庭 千枝

わたしは、3月19日にビーバースカウトのかつどうであわが岳にハイキングに行きました。さいしょはそんなにたいへんではなかったですが、だんだん坂がきゅうになってつかれました。さいごまでのぼることができました。てっぺんについたらいいけしきを見ながらごはんを食べました。たのしかったです



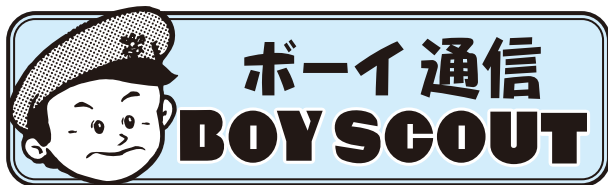
カブつうしん
CUB SCOUT

大きく育て!

富士地区 富士第1団 カブ隊 ふるみ ここな

わたしは、富士市の木を植える活動に参加してきました。当日は、わたしの他にもたくさんの人が参加しました。富士山の雪どけ水が森を通り、きれいでおいしい水を作るという話を聞いて、木を植える活動の大切さを知ることができました。みんなで植えた木が、早く大きくなっておいしい水を作ってくれるといいな。これから先が楽しみです。





あまりない体験をして

伊豆地区 三島第14団 ボーイ隊 神田 恵依



子供会でボルダリングをやりました。ボルダリングは、何年前かに一度やっていましたが、今回と前のボルダリングには、ちがいがあったので、のぼるのに苦労しました。

今回のボルダリングで、しっかりと、ルールを知りました。最初は、自由にのぼっていましたが、と中から、しっかりと、ルールに従って、下のレベルからやっていきました。しかし、レベル4くらいで、ゴールに行けなくなりました。10～20回ずっとそのレベルをやり続けました。でも、ゴールまでたどりつくことができません。手にまめができて、皮もむけてきました。痛かったけれど救急バンをつけて、また、ボルダリングのホールドをつかみ、がんばって挑戦しました。

しかし、残り三十分くらいになってしまいました。まだ、このレベルを達成していません。まめも、増えて、皮もむけて、手はヒリヒリしていました。ちょっと休けいしてから力をふりしぼって、最初のホールドをつかみました。すると、まだつかんだことのなかった、ゴールのホールドの一つ前のホールドをつかみました。そこから、ゴールのホールドをつかむことができました。やっと、そのレベルを達成することができて、とってもうれしかったです。ここまで、あきらめずに、がんばったのは、めったにないことでした。最終的に、まめは、7か所できました。あきらめずに、がんばったことで、ゴールすることができました。

この体験をしたことで、あきらめることも大切だけど、時間があるかぎり、あきらめないで、がんばれば、目指しているものを勝ちとることができるかもしれないということを学んだ気がします。この体験で、大切なことを知ることができて本当に良かったです。

合同野営

沼津地区 沼津第16団 ボーイ隊 山本 佑

4月に沼津19団との合同野営が行われました。この野営では、他のメンバーと仲良くなり、積極的に協力できるよ

うになることを目標に活動しました。

野営中にたちかまどを作りましたが、その中では他のメンバーと協力することができました。活動の中で自分の役割を果たすことができた時はとても嬉しかったです。

ただ、誰かと協力する時に自分から話しかけることがあまりできなかったのを勇気を出して行動することが課題だと感じました。今回の野営でも火を起こすような時は自分から行動できていたので、自分の得意なことを生かして行動すれば、自信を持ってより良い活動ができると思いました。また、そのような活動の中では相手の立場になって物事を考える力が少し身につく自分の力を伸ばせたと思いました。

ところで、野営の中でワニの肉を食べる機会がありました。今まで食べたことがなかったので不安でしたが実際に食べてみたら予想とは違って、とても美味しくて、挑戦してみてもよかったと思えました。

この合同野営を通じて、仲間との絆を深め、成長につながる貴重な経験を得ることができました。今後の活動でもこれらの学びを生かしていきたいと思えます。



合同野営に参加して

沼津地区 沼津第16団 ボーイ隊 尾澤 銀二郎

4月に行われた沼津19団との合同野営に参加しました。自分の目標は、世界スカウトジャンボリーに向けての技能を向上させることでした。

楽しかったのは、大人数での野営活動です。たくさんの仲間と一緒に過ごすことで、団結力や協力の大切さを実感しました。一緒にボンファイヤーや未知の食材の調理を楽しんだことは、とても良い経験になりました。

一方、指示出しや手順の確認など課題が残るところもありました。リーダーシップの一環として、正確な指示を出すことや手順の把握が求められました。自分の役割を果たすためには、的確なコミュニケーションスキルが必要だと感じました。また、時間の管理にも課題を感じました。スケジュールに縛られる中で、活動や休息のタイミングをうまく

調整することは難しかったです。メリハリの大切さを再認識し、時間を有効に使う能力を向上させたいと思いました。

合同野営を通じて、自分の目標に向けて成長できたと実感しています。大人数での野営やリーダーシップの経験は、夏の世界スカウトジャンボリーに向けた準備になったと感じました。課題を乗り越えながら、仲間たちとの絆を深め、新たな挑戦に向かいたいと思います。

B-P企画

沼津地区 沼津第16団 ボーイ隊 佐野 直太郎

2月のプログラムのB-P祭の一環として行われたB-P企画(肖像描き、しおり作り)に参加しました。

自分の目標は、B-Pを上手に描けるようになることでした。



最終的に僕は予想していた以上に上手く描けたのでとても嬉しかったです。B-Pの描き方を練習し、顔や身体の特徴をよく捉えるため観察力をみがきました。その努力が実り、顔のパーツ一つ一つを本物により近づけることができました。

この活動では細かな観察力が求められましたが、それは野鳥観察や星座観察また植物の観察といった色々な活動でも必要とされています。ここで身につけた力を他の活動なども通じ、より良いものにしていきたいと思いました。

トルコ・シリア地震義援募金

浜松地区 浜松第14団 ボーイ隊 船場 美輝

私たち浜松第14団は先日駅前にて、トルコ・シリア地震義援募金を行いました。集まった金額は約六万円と、かなりのものでした。



財布の中の小銭を全て入れてくれた海外の方、自分も昔同じ団に入っていたというおじいさん、目を細めて「えらいねえ」と言いながらカブ隊やビーバー隊の子たちをほめてくれたおばあさん。他にも多くの人たちが、募金をして下さいました。

そんな中でも特にがんばってくれたのは、カブ隊・ビーバー隊の子たちでした。こまめに水を飲みながら、大きな声で呼びかけをしてくださいました。中学生の私でもだいぶ疲れたというのに、弱音ひとつとして吐かず、重い募金箱をかかえてくれたのです。ポスターも一生懸命書いてくれたらし

く、努力が感じ取れました。そんな元気なカブ隊・ビーバー隊の姿に、私も元気をもらいました。「私もがんばらない」と笑顔でいることができたのです。

ボーイ隊とカブ隊・ビーバー隊と一緒に活動することは少ないですが、また一緒に活動があったら、私も負けないくらい元気を出してがんばりたいです。



指導者だよ

やりがいのあるデンリーダー!

静岡第7団 カブ隊 デンリーダー 山内 亮

この4月からカブ隊デンリーダーを務めるようになりました。やって良かったと思うことは多くのスカウト達にたくさんの元気をもらえていることです。

普段の仕事で肉体的にも精神的に疲れていても、子どもたちと会話をしたりふざけ会ったり、頑張っている姿勢に触れることで自分の気持ちが若返ったり心がリフレッシュされ、今ではスカウト活動自体が心のパワースポットになっております。また様々な活動に参加することで自分自身も未知なことに挑戦、体験することが面白く大変有り難い機会を頂いております。たわいのない活動であっても隊長や副隊長達による多くの想いや願いと無償の支援や協力によって成り立っていたのだと初めて気付かされて感激でいっぱいです。今年もまだまだたくさんの予定があります。これからも少しでも活動を援助し、出来るだけ多くの喜びと思い出をスカウト達と分かち合っていきたいと思っております。





おめでとう!!68名の仲間が 友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。
記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和5年7月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏 名	地 区	所 属	氏 名	地 区	所 属
稲 葉 紘 人	伊 豆	伊東第 5 団 C S 隊	遠 藤 虎 太 郎	静 岡	静岡第 10 団 BVS 隊
木 村 紗 夕	伊 豆	三島第 5 団 B S 隊	望 月 茉 奈	静 岡	静岡第 14 団 C S 隊
野 田 千 晶	伊 豆	三島第 5 団 B S 隊	齊 藤 翼	静 岡	静岡第 22 団 C S 隊
近 藤 千 真	伊 豆	三島第 5 団 BVS 隊	望 月 恵 介	静 岡	静岡第 22 団 C S 隊
勝 又 悠	伊 豆	三島第 5 団 BVS 隊	松 並 愛 菜	静 岡	静岡第 22 団 C S 隊
近 藤 瑛 太	伊 豆	三島第 5 団 C S 隊	松 並 菜 穂	静 岡	静岡第 22 団 BVS 隊
月 野 歩 夢	伊 豆	三島第 5 団 C S 隊	宮 藤 花	静 岡	静岡第 27 団 BVS 隊
材 津 悠 仁	伊 豆	三島第 5 団 C S 隊	今 福 海 翔	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
斉 藤 鈴 奈	伊 豆	三島第 5 団 C S 隊	松 下 一 煌	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
池 田 菜 希	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	須 藤 雄 生	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
三 枝 孝 太 郎	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	東 海 林 颯 太	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
古 屋 葉 瑠	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	坂 本 幾 実	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
石 田 陽 那 太	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	中 野 太 智	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
日 吉 篤 輝	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	塩 原 蒼 太 郎	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
藤 原 碧 澄	伊 豆	大仁第 1 団 C S 隊	石 川 倅 太 郎	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
小 村 政 勝	伊 豆	大仁第 1 団 BVS 隊	加 茂 慶 己	志 太	焼津第 1 団 C S 隊
西 巻 珀 翔	沼 駿	長泉第 2 団 C S 隊	中 村 向 日 葵	島 田	島田第 2 団 C S 隊
松 井 俐 人	沼 駿	長泉第 2 団 C S 隊	伊 藤 岳	島 田	島田第 2 団 C S 隊
森 下 景 仁	沼 駿	沼津第 19 団 C S 隊	中 村 楓	島 田	島田第 2 団 BVS 隊
中 山 紗 江	沼 駿	沼津第 19 団 C S 隊	土 屋 尊	島 田	島田第 2 団 BVS 隊
湯 山 遥 月	御 殿 場 小	小山第 4 団 C S 隊	榎 田 菜	島 田	吉田第 2 団 BVS 隊
田 中 那 知	富 士	富士第 8 団 C S 隊	鈴 木 恵 菜	島 田	吉田第 2 団 BVS 隊
平 山 和 季	富 士 宮	富士宮第 25 団 C S 隊	鈴 木 展 幸	島 田	吉田第 2 団 BVS 隊
宮 下 俊 太 郎	富 士 宮	富士宮第 25 団 C S 隊	相 澤 咲 希	島 田	吉田第 2 団 BVS 隊
小 岩 蒼 大	富 士 宮	富士宮第 25 団 BVS 隊	榎 田 湊	島 田	吉田第 2 団 C S 隊
有 路 央 都	富 士 宮	富士宮第 25 団 BVS 隊	堀 江 優 音	島 田	吉田第 2 団 C S 隊
佐 野 圭 祐	清 水	興津第 1 団 C S 隊	大 関 幸 人	島 田	吉田第 2 団 C S 隊
古 牧 ほ の か	清 水	興津第 1 団 B S 隊	西 村 遥 夏	磐 田	掛川第 2 団 C S 隊
橋 本 直 弥	清 水	清水第 8 団 BVS 隊	磯 部 平 太	浜 松	浜松第 1 団 B S 隊
安 形 直 紀	清 水	清水第 8 団 C S 隊	大 石 亜 胡	浜 松	浜松第 1 団 V S 隊
田 村 春 樹	清 水	清水第 19 団 C S 隊	大 石 深 結	浜 松	浜松第 1 団 BVS 隊
増 田 弦 丸	清 水	清水第 19 団 C S 隊	長 谷 川 律 樹	浜 松 東	浜松第 6 団 BVS 隊
杉 崎 承 太 郎	清 水	清水第 19 団 C S 隊	林 玲 於	浜 松 東	浜松第 21 団 C S 隊
小 田 切 波 留	清 水	清水第 19 団 C S 隊	高 橋 杏	浜 松 東	浜松第 21 団 C S 隊



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。



令和5年4月14日(金) 伊豆日日新聞新聞掲載



令和5年3月28日(火) 静岡新聞掲載



令和5年3月30日(木) 静岡新聞掲載



令和5年4月26日(水) 富士ニュース掲載



令和5年5月25日(木) 静岡新聞掲載



令和5年5月24日(水) 中日新聞掲載

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで



ボーイスカウト新聞を作りました 静岡14団ボーイ隊 谷内 透真

きっかけはちょうど学校で自由課題の宿題が出されていたことです。タイミングよく初めての長期キャンプを経験し、また、キャンプの活動の中でも、様々な活動に取り組むことができ、とても楽しかったので、先生にも伝えたいと思い作成することになりました。新聞は、文章だけでなく、写真を取り入れたり、表題をつけるなど、様々な方法を使って自分が伝えたいことを表現できるので楽しいです。一目で楽しくわかりやすく伝わるように、特に、表題のロゴや、写真のレイアウトを工夫しました。記事の内容も、飽きないように、皆で体験したこと、心霊体験(?)のような個人での体験まで、幅広く取り上げるよう心がけました。新聞を見てもらった方に、僕たちの楽しかった活動の様子が伝わればうれしいです。

お知らせコーナー

《第25回世界スカウトジャンボリー 韓国》

●日 時:8月1日(火)～12日(土) ●場 所:大韓民国全羅北道セマングム

地区指導者 養成担当者研修会

●日 時:令和5年9月10日(日)
●場 所:静岡県青少年会館
●申込み:9月1日(金)まで 県連事務局 必着

第1回 ベンチャースカウト フォーラム

●日 時:令和5年9月24日(日)
●オンラインにて開催予定

《定型訓練》

ボーイスカウト講習会 静岡第635回 志太

日 時
令和5年9月24日(日)

場 所
焼津市東益津公民館

申し込み
9月17日(日)まで

団委員研修所 静岡第31期

日 時
令和5年10月7日(土)～
9日(月・祝)

場 所
国立中央青少年交流の家

申し込み
9月9日(土)まで
県連事務局 必着

コミッショナー任務別研修 地区コミッショナー課程 静岡第2期

日 時
令和5年10月28日(土)～
29日(日)

場 所
国立中央青少年交流の家

申し込み
9月30日(土)まで
県連事務局 必着

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(Tel.054-255-6185)まで
ホームページもご覧ください。<http://bs-shizuoka.com>

編集 日記

コロナの感染症位置付けが5類になったことで
ボーイスカウト活動もコロナ以前に戻って参りました。県連総会前の表彰式も以前の賑やかさを取り戻し、受章スカウトの晴れ晴れとした笑顔に頼もしさを感じました。総会の始めに18NSJ報告動画が公開されました。使用された動画は「たちばな169号」に掲載及び未公開の写真を三島第5団の鈴木信司氏に編集制作頂きました。今回初めての試みで同階の小ホールで展示スペースを設け、各隊の活動報告を行いました。今回の総会で村松武博理事長が退任され、小林透業務執行理事が理事長に新任されました。また「たちばな」編集責任者の総務広報委員長には南條順子が新任致しました。これまで以上に充実した誌面を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいませようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広報 “たちばな”

2023年7月

発行所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町1-70-1
県青少年会館内
TEL.054-255-6185
FAX.054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子

印刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL.053-467-4678

発行部数 2,790部